

30 保生第 1654 号
平成 30 年 9 月 7 日

各小中学校長 様

岡崎市保健所長

市内における麻しん（はしか）の発生について（通知）

本市の感染症対策の推進につきましては、日ごろから御理解、御協力をいただき厚く御礼申し上げます。

今般、下記 1 のとおり市内の小学校に通学している児童が麻しんに罹患していることが判明しました。

つきましては、麻しんのまん延を防止するため、下記 2 のとおり、児童・生徒の健康に御留意いただくとともに、ワクチン未接種の児童・生徒に対しワクチン接種を勧奨していただきますよう、児童・生徒の保護者等への周知方よろしくお願いいたします。

記

1 経緯

- 8 月 28 日 別の麻しん患者と接触。
- 9 月 5 日 市内小学校へ登校。夜発熱を呈する。
- 9 月 6 日 市内医療機関を受診。
愛知県衛生研究所にて検査を実施し、麻しん陽性と判明。

2 麻しんについて

- (1) 病原体 麻しんウイルス
- (2) 潜伏期間 感染してから平均 10～12 日（最大 21 日）で発症
- (3) 主な症状 はじめ発熱・鼻水等を呈し、2～3 日後に高熱（39℃以上）・発疹を呈する。
- (4) 感染経路 空気感染、飛沫感染、接触感染
- (5) 予防方法 予防接種が最も効果的。定期接種として、1 歳時及び 6 歳になる年度（年長児相当）の 2 回接種がある。
麻しん患者と接触して 72 時間以内であればワクチン接種で発症を予防出来る可能性がある。

（担当：生活衛生課 感染症対策係 電話 23-6714 FAX 23-6621）

